

地域が主役のまちづくり

地域サポーターの紹介

水谷東公民館

048-473-8717



だいたくしのぶ
大作 忍さん
(水谷東在住)

やなせ川いかだラリー実行委員会
実行委員長

もりあげよう！

やなせ川いかだラリー！

今年で24回目となる「やなせ川いかだラリー」は、毎年7月の海の日前後の日曜に開催されます。柳瀬川を汚さないように趣向を凝らした手作りのいかだに乗り、ユニークな仮装やパフォーマンスを競って柳瀬川を下ります(志木大橋から富士見橋付近まで)。

私が、やなせ川いかだラリー実行委員になったのは、知人から実行委員の人数が少なく、大会を運営するのが困難なので、手伝ってけれないかと言われたのがきっかけで実行委員に参加しました。

やなせ川いかだラリーをもっと多くの方に知ってもらえればと考え、昨年から、審査結果をまとめている間に、小学生を対象にカヤックによる川下り



昨年のいかだラリーのようす

やなせ川いかだラリーに参加するチームや実行委員として活動していただける方を募集しています。興味のある方は、水谷東公民館へお問い合わせください。

体験会を行いました。初めは恐る恐る乗っていた子どもたちが、「もう一度乗りたい」というほど、大好評でした。やなせ川いかだラリーが、「楽しかった、また出艇したい」と皆さんに言っていただけのようにこれからも盛り上げていきたいと思えます。今年7月24日(日)に開催しますので、ぜひ応援にお越しください。

手話で楽しもう

問合せ/障がい福祉課 ☎327

手話を身近に感じていただくために、手話について紹介するコーナーです。

手話の成り立ち

欧米と比べ、日本における手話の歴史は浅く、本格的な手話の成立は1878年にできた、日本で初めてのろう学校である京都盲啞院がきっかけでした。

さまざまな地域から集まった聴覚に障がいのある生徒たちが、生徒同士で日常的に手話を使って会話をしていることに着目し、手話を活用した教育が始まりました。それが分岐点となり、今日ある「手話」へと形作られるようになっていきます。手話は、聴覚に障がいのある方々のごく日常的なコミュニケーションの中で生まれ、発展してきた言語と言えます。

戦後の1947年、聴覚に障がいのある人の自主自立の当事者組織として、「全日本ろうあ連盟」が設立され、自らの言語である「手話」の普及、発展に力を注ぐようになりました。その後、1963年に京都で手話学習会「みみずく」が誕生して以来、全国

的に「手話サークル」が結成され、手話が飛躍的に普及するようになりました。

※下記に掲載の写真から、AR動画が見られます。AR動画の利用方法など詳しくは、ホームページをご覧ください。



うれしい



怒る



こまる



おもしろい